

A photograph of a lush green forest. In the foreground, there is a wooden trellis structure made of vertical and horizontal poles, possibly for climbing plants. The background is filled with tall trees and dense foliage, creating a vibrant green scene.

会報

たんばうるし

— 会報第 18 号 —

2021.9.30

理事長交代と

役員変更

NPO 法人丹波漆発足から理事長を務めてきた岡本嘉明氏が2020年度をもって引退することになりました。理事長交代に伴い、役員改選および新役の設置を行いました。



社員の皆様を代表して、石崎様より岡本理事長に花束贈呈

岡本理事長、お疲れさまでした、ありがとうございました!!

秋も深まってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。コロナ禍でたいへんな状況におられる方々にお見舞い申し上げます。ご報告が遅くなりましたが、NPO 法人丹波漆発足から理事長を務めてきた岡本嘉明氏が2020年度をもって引退することになりました。2021年6月に開催された社員総会では、理事長交代に伴い、役員改選を行うとともに、新役職「相談役」の設置を諮り、可決されました。



ご挨拶

金風の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび 六月に行われました社員総会をもちまして、理事長を退任し、相談役に就任いたしました。在任中は多年に渡り、ひとかたならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

なお、後任には副理事長でありました高橋治子が就任いたしました。

何卒私同様格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

これからも丹波漆復興のために活動を支えていただければと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。

NPO 法人丹波漆
相談役 岡本 嘉明

— 総会開催 — 昨年度 NPO 役員 お疲れ様でした



後列左より 羽上田氏 椎名氏 石崎氏 花澤氏 佐藤氏 鶴島氏 中島氏 柴山氏 齊藤氏 比嘉氏
大藪氏 小野田 岡本 高橋 山内 (欠席 青木氏)

上記の写真にも写っている皆さまが、昨年（2020年度）のメンバーでした。

理事長) 岡本嘉明 副理事長) 高橋治子・小野田さやか 理事) 山内耕祐 監事) 羽上田郁志
社員) 青木政博、石崎陽子、鶴島三壽、大藪 泰、佐藤貴彦、椎名 隆、柴山啓一、中島敏則、花澤尚志、比嘉明子

2021年度総会では、理事長の辞任に伴い、役員一斉改選とし、社員変更も合わせて行われました。

今年度は以下の人員体制に変わります。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

理事長 高橋治子
副理事長 (新) 大藪 泰・小野田さやか
理事 山内耕祐
監事 (新) 中島俊則
社員 青木政博、石崎陽子、鶴島三壽、佐藤貴彦、椎名 隆、柴山啓一、花澤尚志、比嘉明子
(新) 加藤雅士、(新) 堤 卓也、(新) 鹿田俊之、(新) 斎藤善之
相談役(新) 村山 明、岡本嘉明

— 当法人組織について —

普段はなかなかご紹介することがない、当 NPO の役員構成をご説明します。

役員構成は、NPO法で定められた基準を元に当団体が作成した定款で定めています。

理事…当法人の理事定数は5人以下。そのうち、理事長1名、副理事長2名

監事…1名

社員…10名以上。NPOの「社員」とは法人の構成員であり、法人の意思決定機関である社員総会において議決権を持つ会員（正会員）のことをいいます。

相談役…若干名

2020年度 事業報告

2020年度は、コロナウイルス感染防止のため、NPO主催の一般向けイベントは自粛させていただきました。皆様にお会いする機会がなく残念でしたが、来ていただける状況になるのを待ちながら、活動を続けています。植栽管理作業は、例年通り行うことができましたので、その活動を中心にご報告いたします。

1、漆の生産、漆掻き技術の伝承

●令和2年度京都府・福知山市意欲的林業者活動支援事業
(令和2年4月27日以前分については2019年度総会においても報告済み)

項目	内容	実施日	従事者数	場所
新植作業	漆苗の定植	令和2年 4月 16日	2名	夜久野町平野
除草・補植作業	除草および漆苗の補植	令和2年 11月 12日	1名	夜久野町平野
自生漆実採集作業	自生する漆樹の実の採集	令和2年 11月 10日	2名	夜久野町大油子
苗木移植作業	苗畑の漆苗の移植	令和2年 4月 27日	2名	苗畑
除草・病害虫防除作業	苗畑の雑草の除去・病害虫の防除	令和2年5月24日～9月13日	のべ15名	
苗掘り作業	苗畑の漆苗の掘出し	令和2年 12月 10日	4名	
耕耘作業	苗畑の耕耘	令和3年 2月 21日・3月4日	のべ2名	
苗畑整地作業	漆苗畑の整地	令和3年 2月 27日	2名	
苗木・分根植え付け作業	分根苗、2年生苗の植え付け作業	令和3年 3月 8日	5名	



●令和3年度京都府・福知山市意欲的林業者活動支援事業

項目	内容	実施日	従事者数	場所
除草作業	苗畑の雑草の除去	令和3年4月12日・4月27日・5月14日	3名	苗畑



●漆生産拠点整備事業（京都府・伝統工芸の森プロジェクト事業）

項目	内容	実施日	従事者数	場所
漆パイロット園地 整備工事	獣害防止フェンス設置	令和3年1月20日~1月31日	のべ7名	福知山市夜久野町小倉
	除草	令和3年1月31日	のべ2名	
	測量・マーキング	令和3年2月4日~2月9日	のべ4名	
	植え付け及び土壌改良資材施用	令和3年1月27日~3月16日	のべ19名	
総括指導	施工管理・作業指示及び作業補	令和3年1月28日・2月4日・2月22	のべ6名	



●漆掻き（写真13~15）

項目	内容	実施日	従事者数	場所
漆掻き	9本より3655g生産	令和2年6月15日~10月4日	3名	夜久野町水坂地区山林、今西中漆植栽地



●漆掻き講習会・見学会

項目	内容	実施日	参加者数	場所
体験・実習の受け入れ	京都府立林業大学校 漆掻き及び苗畑管理の見学・実習	令和2年7月2日・7月3日	19名	夜久野町水坂地区山林



—夜久野6年目の吉川さん—

地域おこし協力隊として夜久野に来ていただいた吉川さん。3年間の協力隊活動終了後も、丹波漆の活動にずっと協力していただいています。今年も、苗の除草など頑張ってください。



●令和2年度丹波漆伝承事業（文化庁・文化財保存技術保存事業）
（令和2年5月20日以前分については2019年度総会においても報告済み）

区分	研修の項目	期日	研修参加者	講師	場所	
伝承者の養成	漆植栽地管理研修	除草	5月9日～ 12月14日 30日間	2名	岡本嘉明	板生芝漆植栽地 板生山中漆植栽地
		病虫害防除	4月15日 9月11日 2日間	2名	岡本嘉明	今西中漆植栽地 平野A漆植栽地 平野B漆植栽地
		獣害防止柵補修	9月17日～ 3月12日 6日間	2名	岡本嘉明	平野C漆植栽地 梅谷漆植栽地
		土壌改良	5月9日～ 11月27日 14日間	2名	岡本嘉明	日置A漆植栽地 日置B漆植栽地 小倉A漆植栽地
		生育状況調査	12月14日～ 2月25日 7日間	2名	岡本嘉明	小倉B漆植栽地 小倉C漆植栽地 小倉D漆植栽地
		補植	4月15日	2名	岡本嘉明	千原漆植栽地
	漆掻き研修	6月1日～ 10月28日 28日間	2名	岡本嘉明	今西中漆植栽地 夜久野町 水坂地区山林内	



●令和3年度丹波漆伝承事業（文化庁・文化財保存技術保存事業）（令和3年5月1日以前分）

区分	研修の項目	実施日	研修参加者	講師	場所
伝承者の養成	漆植栽地管理研修	令和3年4月14日～ 5月18日	3名	岡本嘉明	平野A漆植栽地 平野B漆植栽地 平野C漆植栽地 梅谷漆植栽地 日置A漆植栽地 日置B漆植栽地 小倉C漆植栽地 小倉E漆植栽地 千原漆植栽地



●漆植栽協力者への支援

項目	内容	対象者	植栽本数	場所
漆植栽協力者への支援	漆苗木の提供	2名	25本	福知山市夜久野町内

令和2年度漆生産活動報告

漆新植	150本	夜久野町内 平野E.小倉E植栽地	漆掻き	9本	今西中、水坂
漆苗木生産	431本	分根植え付け	300本	漆生産量	3566g

2、PR活動

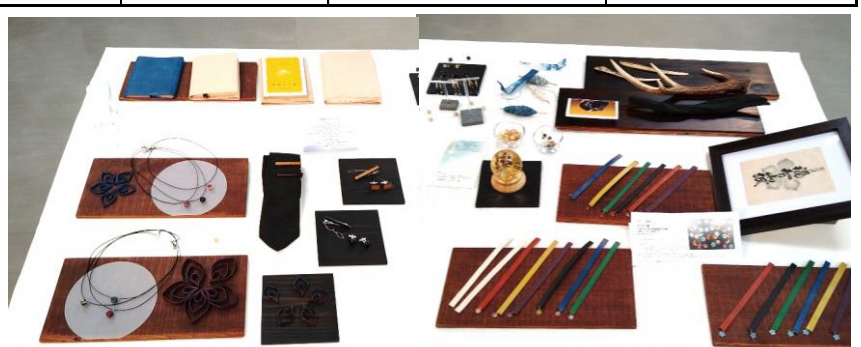
●漆苗記念植樹・漆の総合学習

項目	内容	実施日	参加者	参加人数	場所
漆の学習(漆掻きの話)	地元小学校の前期終了(4年生)記念として漆苗の植樹、絵付け体験、講演。	令和2年9月24日	夜久野学園	15名	夜久野学園
漆の学習(絵付け体験)		令和2年10月1日	小学校4年生	15名	やくの木と漆の館
漆の学習(漆苗記念植樹)		令和3年3月8日	及び教師	15名	平野E漆植栽地



●福知山市・丹波漆等伝統文化活用・支援事業

項目	内容	実施日	従事者	場所
「丹波漆プロジェクト新作発表会」展示協力	やくの木と漆の館で製作した「丹波漆」を使った新商品の発表会 NPO法人丹波漆の活動紹介パネル展示	3月18日搬入 3月19日～3月21日	のべ3名	福知山市丹波生活衣館ギャラリー



・福知山市より獣害防止柵(約250m)の支援 および、苗木販売の補助を受けた。

●京都府緑化センター漆園地管理業務の実施

項目	内容	実施日	参加者	場所
ウルシ園地及びハゼ園地	園地内の草刈り管理	令和2年10月5日 ～令和3年3月3日	のべ6名	京都府緑化センター内 漆園地

3、その他

●総会の開催

実施日	参加者	開催方法
令和2年6月10日提案 令和2年6月25日決議	社員10名 理事 4名 監事 1名	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、書面開催で決議。

当法人の年度は6月から翌年5月としています。

●HP運営

HPアドレス : tanbaurushi.org

facebook : facebook.com/tanbaurushi

随時更新

●会報作成

総会内容や活動報告など年に2回発行。

令和2年8月15日に第16号、令和3年3月30日に第17号を発行。

NPO会員やイベント参加者に送付。

—夜久野6年目の吉川さん—

地域おこし協力隊として夜久野に来ていただいた吉川さん。3年間の協力隊活動終了後も、丹波漆の活動にずっと協力していただいています。

昨年は圃場が変わったこともあり、ハダニなどの害虫対策に苦戦したとのこと。今年も来年に向けてよりよい対策を検討しながら、苗の除草など頑張っていただいています。



2021年度 事業計画

例年通り、植栽管理活動を中心に事業を行います。

イベントは、コロナウイルス拡大状況を踏まえた規模の開催を予定しています。

2021年度(令和3年度) 事業計画書

No.	事業名	内容
1	植栽	植栽、植栽地農薬散布、除草作業、整備など 後継者育成
2	漆掻き	漆採取作業 後継者育成
3	漆掻き見学会	小中学校・大学など団体の漆掻き見学受け入れ
4	講演会	オンライン講演会
5	漆植樹祭 うえるかむまつり	漆植樹イベント
6	交流施設 運営管理	交流施設の運営 交流の場としての受け入れはコロナウイルス感染防止のため、基本的には行わない
7	PR事業	HP運営、印刷物の発行、会員へのサービスの充実
8	総会	総会の開催
9	会報	年2回の会報の発行

※ イベント開催については、コロナウイルス感染拡大状況により、変更することがあります

2021年度(令和3年度)事業計画 年間予定表

	漆掻き (文化庁文化財 保存技術保存)	漆植栽地管理 (文化庁文化財 保存技術保存)	漆苗生産 (京都府 意欲的林業者 活動支援)	新規植栽地整備 (京都府 伝統工芸の森PT) (一般)	見学・イベント (京都府 伝統工芸の森PT)	その他
6月	初鎌入れ 初辺	除草	除草			6/20総会
7月	盛辺	除草	除草		漆掻き体験等受け入れ 林業大学校	会報発行
8月		農薬散布	除草 農薬散布			
9月	遅辺	除草	除草		夜久野学園 漆の学習	
10月				植栽地整備		
11月		生育状況調査	苗振り 分根採取	植栽地整備	うえるかむまつり開催	
12月				植栽地整備		会報発行
1月						
2月			施肥 耕耘	植栽地整備 新植	夜久野学園 植樹	
3月			苗床換え 分根植付			
4月		除草 農薬散布	除草 農薬散布			
5月	漆掻き準備	除草 農薬散布	除草			

*見学・イベント開催については、新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更することがあります

〈うえるかむまつり 2021〉 2021.11.14 (日)

今年度は、新型コロナウイルス対策を踏まえ、1日のみで、近隣地域の参加者を主とした小規模な勉強会を開催予定です。

より実践的な植栽・苗木生産方法の実演・体験と、夜久野の山・里・暮らしの変遷についてをテーマとした、講演会などを予定しています。

今までとは少し違った「うえるかむまつり」となります、よろしくお願いいたします。

※人数限定となりますので、ご参加していただけない場合がございます。どうぞご了承ください。

応募案内は HP 等でご連絡いたしますので、今しばらくお待ちください。

漆掻き中間報告

漆掻き日誌（山内）

今年の漆掻きがはじまりました。

今年は、棚田になっている水田の脇の傾斜地になっている雑木林のなかのウルシを掻きます。

遠目から見て3、4本ウルシがあるなと思っていたら、近付くとシンジュのなかに紛れるように、合計10本くらいのウルシが生えていました。今年はこの内の4本を掻きます。

この雑木林について、土地の所有者や地域の方々のお話を伺ったところ、昔は斜面を横切るように里道（主に地域住

民が利用する細い道）があって、上の田畑に向かう為に行き来していたとの事でした。背の高いメダケに覆われていた現場を刈り払うと、その道がわかる様になりました。道の上には、コンクリート製の用水路も設置されていました。

ウルシは、なんとなく里道の近くに生えている様に見え、人の動線に沿ってウルシを植える事が多かったのかな？と思いました。

漆を掻いた後、萌芽更新を守るなどして、ウルシの個体数を減らさずこの場所を維持していく事も、今年のテーマにしたいです。

継続的に漆掻きをする事で、道が復活したりすると面白いな、と思いつつ、頑張って樹に向き合いたいと思います。



8月に入り、漆掻きは14辺まで進んでいます。今は折り返し地点という感じで、これからひと月が最も漆のよく出る期間になります。この暑さに人間がへたりかけるなか、だんだんと漆の出を増やしてくれる木に、力強さを感じます。

ある方が、漆掻きの過程で木と掻き手の間に関係性が生じていく事が面白い、と仰っていました。

基本的には何でもそうなのだと思いますが、

たしかに、漆掻きは、生きた木に漆を作らせながら掻くという考えに基づく作業、自分の掻き方に木が呼応するような感じが、掻き手にそう思わせるのかもしれない。

また木に対して何をしたかという事が、傷跡という形で履歴のように残る事で、否が応でも可視化されてしまいます。その形などを見ると、その時々で何を考えていたかを思い出します。傷という、加虐的であったり、やり直しが効かないという意味あいも、何かある様な気もします。今年は担当している木が1本だけなのですが、より細かく木の変化を見ていければと思います。

良い関係が作れたと思えるような漆掻きがしたいです（木からしたら迷惑かもしれませんが）。

かぶれやぶれ日記（齊藤）

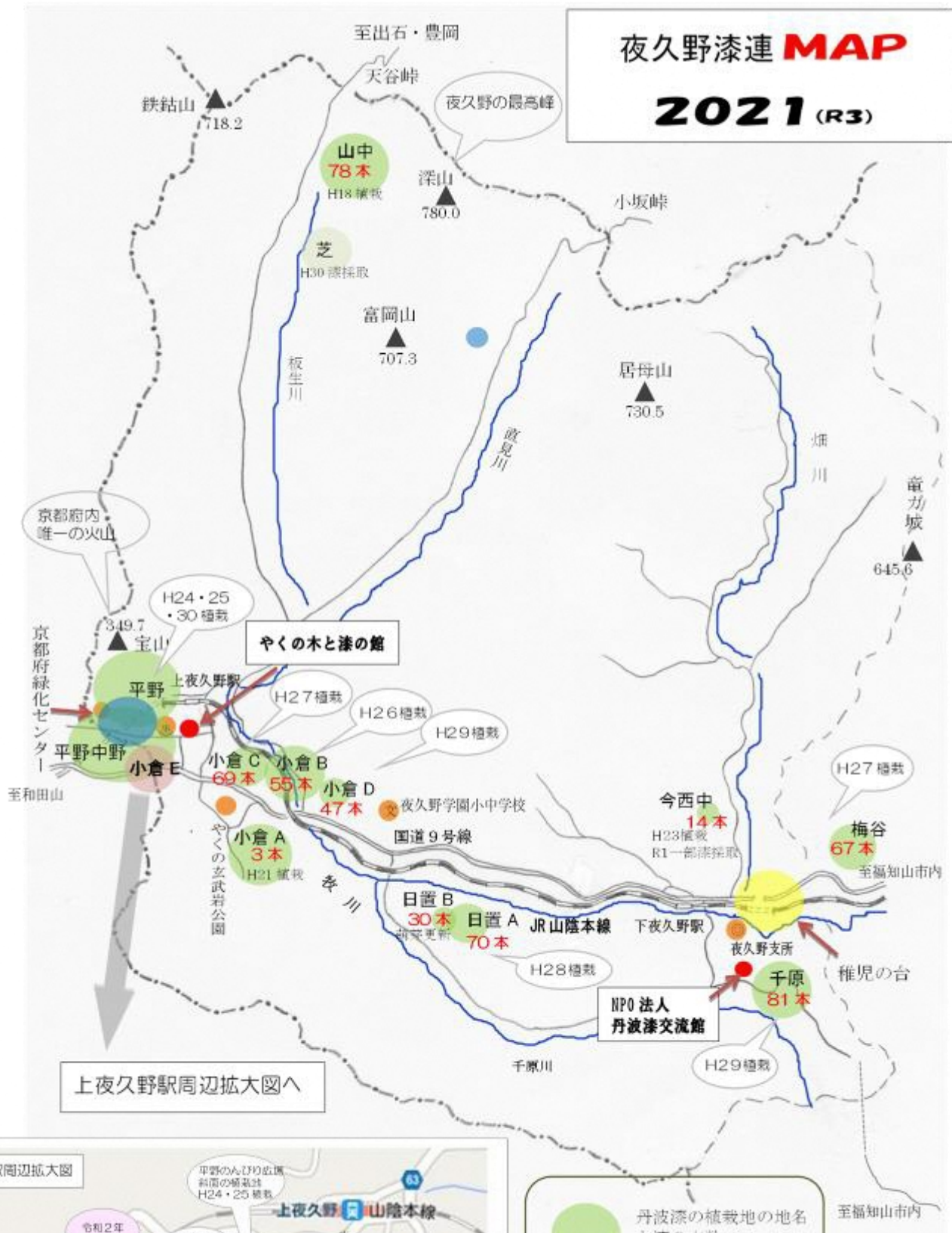
今年も漆掻きシーズンが始まりました。初鎌も無事終わり、中3日あけて2辺目、3辺目と、少しづつ傷を入れて行きます。丹波漆では4辺目から漆をとります。この時点では一本から採れる漆はティースプーン一杯くらい。う〜んって感じです。でも繰り返して掻いて木が傷に慣れてくると漆の生成量が増えると言われています。植物の生理といあの不思議なものですね。

まだ量としてはわずがですが、今年は初（ハツ）からよく出ていると思います。これから盛（サカリ）に向けて増えていくと思いますので、どの位採れるか楽しみです。



夜久野漆連 MAP

2021 (R3)



上夜久野駅周辺拡大図へ



● 丹波漆の植栽地の地名と漆の本数
 NPO
● 24ヶ所
 合計 1838 本
 (健在数)



写真協力：安田尚吾様

NPO 法人丹波漆は、年間100本の植栽と、漆掻きの後継者の育成を目標に活動しています。

その運営には、皆さまのご支援・ご協力がなければ成り立ちません。

みなさまのあたたかいご支援をお待ちしています。

賛助会員（団体）…30,000円

賛助会員（個人）…10,000円

サポーター会員…3,000円（各一口）

お振込み先：

ゆうちょ銀行 振込専用口座 00920-0-209552

ゆうちょ口座間 記号 14430 番号 3724651

トクビ) タンバウルシ

会報たんばうるし 会報第18号

発行 NPO 法人丹波漆

〒629-1321

福知山市夜久野町直見 2452

tel: 090-8972-5062 (高橋)

fax: 0773-38-0425(事務局)

e-mail: info@tanbaurushi.org

2021.9.30

